

翔生

平成21年 8月号

各地商工会議所で使用されている商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者(Youth Energy Generalist)を表現しています。



発行:日本商工会議所青年部(日本YEG)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2
日本商工会議所 中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847 http://yeg.jp/
編集:広報委員会
委員長:藤原 浩晃
副委員長:河野 渡/新井政秀
理事:大江 匠/青木聡明/田中 修/有座宏文
野崎 良/神部吉昭
専門委員:五十嵐 亮/吉田 修/小林弘明
井野口 豊/川崎亮一/水野久美子
延原正浩/梶原康彦/宮内俊治

P1

対談

東京 丸の内

日本商工会議所青年部(日本YEG)山内毅会長が日本商工会議所岡村正会頭を訪問。
YEG活動の未来への指針を語り合いました。

日本商工会議所会頭
+
日本YEG正副会長

日本商工会議所 会頭 岡村 正 + 日本商工会議所青年部 会長 山内 毅



P2



アジア商工会議所連合会(CACCI)第23回総会 および第76回理事会 概要報告

P4



第7回 全国サッカー大会 富山大会

2009.6.27-28

きっと届く!友へ、ゴールへ、夢へ。

P7

ブロック会長会議を終えて――。

P7 ■北海道ブロック

日本商工会議所青年部
北海道ブロック代表理事
新川 勝久(岩見沢YEG)

P7 ■東北ブロック

日本商工会議所青年部
東北ブロック代表理事
安田 善好(須賀川YEG)

P8 ■北陸信越ブロック

日本商工会議所青年部
北陸信越ブロック代表理事
坂井 一欽(新津YEG)

P8 ■関東ブロック

日本商工会議所青年部
関東ブロック代表理事
河村 卓利(静岡YEG)

P9 ■東海ブロック

日本商工会議所青年部
東海ブロック代表理事
鈴木 成宗(伊勢YEG)

P10 ■近畿ブロック

日本商工会議所青年部
近畿ブロック代表理事
飯田 寛光(八尾YEG)

P10 ■中国ブロック

日本商工会議所青年部
中国ブロック代表理事
山崎 孝一(大田YEG)

P11 ■四国ブロック

日本商工会議所青年部
四国ブロック代表理事
川田 昌義(高知YEG)

P11 ■九州ブロック

日本商工会議所青年部
九州ブロック代表理事
有島 範明(奄美YEG)

日本商工会議所会頭
＋
日本Y E G正副会長

対 談

平成 21 年 7 月 9 日
東京 丸の内



日本商工会議所青年部 会長
山内 毅



日本商工会議所 会頭
岡村 正

日本商工会議所青年部(日本Y E G)山内毅会長が日本商工会議所岡村正会頭を訪問。
Y E G活動の未来への指針を語り合いました。



日本商工会議所青年部(日本Y E G)の山内毅会長、西居基晴副会長、鳥澤加津志副会長、加瀬久照副会長、鈴木大介専務理事が7月9日、日本商工会議所の岡村正会頭を訪問。Y E G活動について意見交換が行われた。

冒頭、参加者自己紹介の後、山内会長より今年度のY E G活動について説明。「One Team!」力強い日本の創造 原点回帰、そして新たな進化」のスローガンの下、全国400単会、2万6000会員のネットワークを生かしながら事業を展開。会員企業の発展支援や提言活動、環境問題への積極的な取り組みなどを行っていることについて報告があった。

その後対談に入り、広くY E G活動全般について意見交換が行われた。



岡村会頭

青年部の熱き思いに溢れた行動力を評価しています。経済が停滞しているなかで商工会議所が果たすべき役割も今以上に大きくなっていますが、若き経済人としての視点からの提言に期待しています。『ビジネスプランコンテスト』『ご縁満開Y E Gビジネスサイト』『環境行動宣言』も、今の時代が必要とする事業を的確に展開しています。今後、ますます重要となる役割を再認識して事業を続けていただきたいと思います。

また、グローバル化の流れるなかで、国内にとどまらず、国際的にどう活動するか、もう一度考えるべき時期ではないでしょうか。大半の企業は国内マーケットで事業を実施していますが、海外との競争も避けられないなかで、マーケット(市場)としての側面と、ネットワーク(連携)先としての側面の両面から海外を捉えられるのではないのでしょうか。海外は競争者であると同時によき理解者

という側面も持っています。そうした意味からも、ご縁満開ビジネスサイトのグローバル化なども考えられるのではないのでしょうか。

山内会長

横浜で5月に開催されたCACCI(アジア商工会議所連合会)総会等に参加しました。そこでアジアの方々と交流を深めました。彼らが日本の市場に注目していることを感じ、我々にもグローバルな考え方が必要と実感しました。

岡村会頭

商工会議所は他の経済団体に比べ国際化という面で弱いところがあります。活動が国内に向けたものが中心であるので仕方ない部分もありますが、商工会議所にも国際的な視点は求められています。

西居副会長

国際化という意味では、金融危機など海外から来た悪影響が今年から来年にかけて日本経済にどのように影響するのか注視しています。今回の不況は中小企業にも大きな影響を与えています。打撃を受けた企業をどれだけ回復させることができるかが重要です。

岡村会頭

各地区の商工会議所では、これまでの提言を整理し、今後とりまとめるべき政策提言を考えています。親会としては、青年部からの若い視点での政策提言を待っていると思います。これまで、親会と青年部では意見交換の場等も少なかったと思われませんが、今後は積極的にそうした場を設け、皆さんの若い意見を活かしていきたいと思っています。

CACCI

アジア商工会議所連合会(CACCI)第23回総会 および第76回理事会 概要報告

会 期:2009年5月31日(日)~6月1日(月)

開催地:横浜(日本)

主催者:横浜商工会議所、アジア商工会議所連合会

後 援:日本商工会議所

参加国・地域:18カ国・地域(順不同)

オーストラリア、バングラデシュ、グルジア、香港、インド、イラン、日本、韓国、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、
パプア・ニューギニア、フィリピン、ロシア、シンガポール、スリランカ、台湾、トルコ
(欠席:ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア、パキスタン、タイ、ウズベキスタン、ベトナム)

出席者:約250名(総会出席者)

海外出席者:約140名・日本人出席者:約110名・日商、東商出席者22名

議事概要

CACCI第23回総会

テーマ:「経済再生へ向けて～経済問題への対策とビジネス活性化のために～」

開会式

ハーベイ・チャンCACCI会長、佐々木謙二横浜商工会議所会頭、松沢成文神奈川県知事から開会の挨拶が述べられた。また、中田宏横浜市長から環境政策についての基調講演があり、横浜市のごみ削減事業についての紹介があった。

全体会議

「経済危機における中小企業への支援～その課題とチャレンジ～」と題したトピック1で、現在の世界同時不況についての対策が討議され、「新たなエネルギー源の利用により発展するビジネスのケース・スタディ」と題したトピック2で日産自動車(株)の電気自動車の普及と東日本旅客鉄道(株)のCO²削減への取組みについてそれぞれ高橋忠生取締役、荒井稔執行役員より紹介された。昼食講演会では、本保芳明・観光庁長官が観光立国に向けての取組みについて紹介した。

分科会

①若手起業家、②女性起業家、③情報通信技術(ICT)、④観光、⑤中小企業開発委員会(SME)の5つの分科会が開催された。若手起業家グループの分科会には、日本商工会議所青年部の代表団が参加。鈴木悌介日商CACCI若手企業家セッション担当アドバイザーが副議長を務め、山内毅日商YEG会長と山崎大祐(株)マザーハウス副社長が講演を行い、大内日商中小企業振興部課長が商工会議所の起業家支援事業についての具体的な説明を行った。

女性起業家分科会では、3人の日本人女性起業家パネリストを迎え、女性起業家の役割と可能性を指摘し、鈴木日商国際部部長が過去の東商女性会の取組みを紹介した。

観光分科会では、須田寛日商観光専門委員会委員長が、観光は平和に寄与すると述べ、また、商工会議所のネットワークの重要性を強調した。

SME分科会においては中村利雄日商・東商専務理事が日本における中小企業の活性化についての講演の中で、不況期における商工会議所の役割やセーフティーネットの必要性について講演を行った。

その他

ウェルカム・ディナーにおいて、村田純一日商特別顧問(京商名誉会頭)が「この世界同時不況はアジア地域の団結力を見せるよい機会である」と挨拶した。フェアウェル・ディナーにおいては、岡村会頭が「世界不況の中、アジアの持つポテンシャルを引き出すのは商工会議所の役割である」と挨拶し、野田由美子横浜市副市長も祝辞を述べた。





第76回理事会(6月1日)

村田・日商特別顧問、中村・日商・東商専務理事、坪田日商理事・事務局長などが参加。

①新会員について

2009年3月、トルコ商工会議所連合が正会員に加わった。

終身特別会員に新たに5会員(バングラディッシュ3、ロシア1、スリランカ1)が加わった。また、モンゴルの1会員が、特別会員から終身特別会員となった。

②合同ワーキング・グループの報告について

「アジア太平洋における気候変動」を議題として、オーストラリア商工会議所から政策方針書が提出されており、同政策方針書の承認が行われた。

③次回理事会について

第24回総会は、2010年にスリランカ商工会議所連合会とセイロン商業会議所の主催でスリランカ・コロンボに於いて行われる。(詳しい日程については次回企画委員会で決定予定)理事会では、ペイレス国際貿易・輸出振興大臣などスリランカの代表からプレゼンテーションが行われた。



懇親会フォトギャラリー



第7回 全国サッカー大会 富山大会 2009.6.27-28



きっと届く！友へ、ゴールへ、夢へ。

大会概要

開催日	平成21年6月27日-28日 予選リーグ(27日) 決勝トーナメント(28日) フレンドリーマッチ(28日)
試合会場	富山市富山南総合運動公園 富山県空港陸上競技場 富山県五福陸上競技場
懇親会会場	富山第一ホテル
大会会長	橘 泰行(富山YEG会長)
大会名誉会長	山内 毅(日本商工会議所 青年部 会長)
大会名誉顧問	坂井 一欽(北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会 会長) 大橋 政幸(富山県商工会議所青年部連合会 会長)
大会実行委員長	尾山 謙二郎
大会事務局	堀内 朗(まほるば特別委員会) 草島 周司 関口 陽子



winner

日立エルニーニョ

決勝戦

日立エルニーニョ 2-0 仙台YEG



6月27日、28日の2日間、富山県富山において「商工会議所青年部第7回全国サッカー大会富山大会」が開催されました。7回目を数える今大会には、全国の商工会議所青年部のメンバーから650名近くの登録があり、参加チーム数は32チームを数えました。第1回の大会が静岡県藤枝市で開催された際は9チームの参加だったことを考えると、この7年間で非常に大きな大会となり、全国の商工会議所青年部のメンバーが交流を深める一大イベントとなりました。

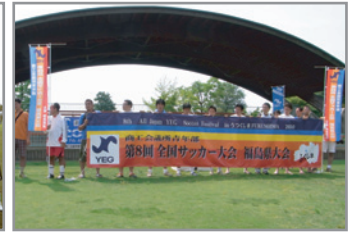
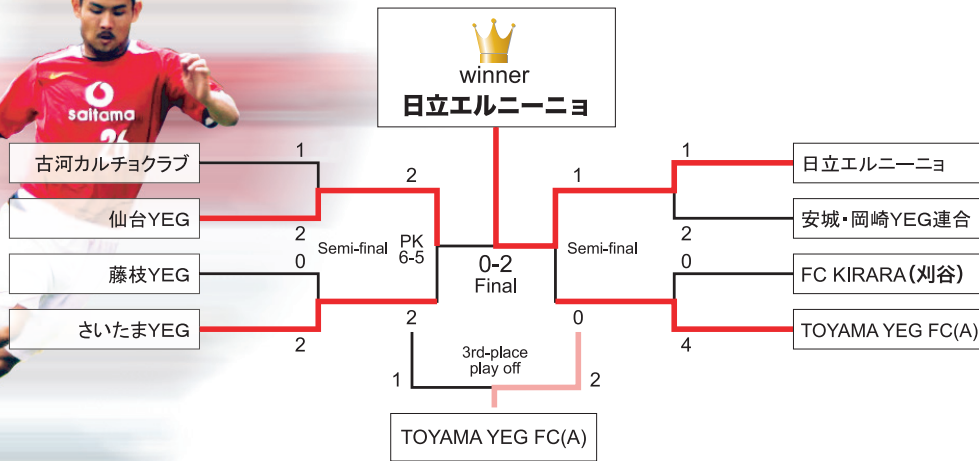
1日目は開会式に始まり、フェアプレーの精神で各地の商工会議所青年部メンバーと交流を深めることが誓われました。その後、4チームずつの8リーグに別れ、予選を戦いました。当日の富山市は最高気温が35度まで上がり、熱中症や怪我が心配されましたが、大きな怪我もなく、1日目は終了しました。夜は富山第一ホテルにおいて、試合参加者だけでなく運営する富山商工会議所青年部のメンバーも加わり、大懇親会が開かれました。大懇親会では、富山県名産の白エビや昆布、地酒などが振舞われ、参加者は舌鼓をうちました。また、富山商工会議所青年部会長が自ら白エビ漁に行く映像や当日の試合のダイジェストが映像で



流され、とても盛り上がる大懇親会となりました。懇親会後も富山商工会議所青年部メンバーの案内のもと、たくさんの方々が夜の街に繰り出し、富山市中心部は久しぶりにたくさんの方で賑わったとのことでした。2日目は、前日のリーグ戦で1位のチームによる決勝トーナメントが行われました。決勝まで勝ち進んだのは、前回大会優勝の茨城県日立商工会議所青年部の「エルニーニョ日立」と、今大会が初出場の新潟県富山商工会議所青年部の「仙台YEG」の2チームでした。結果は「日立エルニーニョ」が2対0で勝利し、2連覇を達成しました。

この2日間で、日頃交流がない全国の商工会議所青年部のメンバーとも友好を深めることができ、たくさんの方の新しい友情が芽生えました。運営を行った富山商工会議所青年部は「おもてなしの心」を重視し、全国から来県する仲間が気持ちよく、楽しい時間を過ごせるように努力をしておりました。参加者の多くの方が「素晴らしい大会だった」という言葉を残し、帰路につかれたとのことでした。

来年は福島県で全国サッカー大会が開催されます。今年同様熱い戦いが繰り広げられるはずなので、是非注目していただきたいです。



group A	T	福	千	新	勝点	得/失	勝敗	順位
TOYAMA YEG F.C(A)		○ 5-1	○ 4-0	○ 1-0	9	+9	3/0	1
福島三単会 Bチーム	×		○ 2-1	○ 4-0	00	+1	2/1	2
千葉県青連	×	×		○ 1-0	00	-4	1/2	3
新潟県連	×	×	×		00	-6	0/3	4

group B	K	新	力	石	勝点	得/失	勝敗	順位
FC.KIRARA		○ 2-1	○ 5-1	○ 12-1	9	+17	3/0	1
新宮YEG	×		○ 3-1	○ 6-0	6	+7	2/1	2
FC.カイマラーヤ (浜松)	×	×		○ 4-2	3	-4	1/2	3
石川県商工会議所 青年部連合会	×	×	×		0	-20	0/3	4

group C	古	A	神	岐	勝点	得/失	勝敗	順位
古河カルチョクラブ		○ 4-0	○ 7-1	○ 5-0	9	+15	3/0	1
AZZURRI (豊橋)	×		○ 4-0	○ 4-3	6	+1	2/1	2
神奈川県青連 Aチーム	×	×		○ 4-2	3	-8	1/2	3
岐阜県商工会議所 青年部連合会	×	×	×		0	-8	0/3	4

group D	藤	上	日	新	勝点	得/失	勝敗	順位
藤枝YEG		○ 4-0	○ 2-0	○ 2-0	9	+8	3/0	1
上尾YEG	×		△ 0-0	○ 3-0	4	-1	1/1	2
日立エルニーニョ	×	△		△ 1-1	2	-2	0/1	3
新発田商工会議所 青年部	×	×	△		1	-5	0/2	4

group E	工	大	福	藤	勝点	得/失	勝敗	順位
エルニーニョ 日立		○ 1-0	○ 2-0	○ 2-1	9	+4	3/0	1
大町YEG & Friends	×		○ 1-0	△ 0-0	4	0	1/1	2
福島三単会 Aチーム	×	×		○ 1-0	3	-2	1/2	3
藤岡・太田・桐生・富岡連合	×	△	×		1	-2	0/2	4

group F	さ	神	尾	黒	勝点	得/失	勝敗	順位
さいたまYEG		○ 3-0	○ 3-0	○ 3-1	9	+8	3/0	1
神奈川県青連 Aチーム	×		△ 1-1	○ 2-0	4	-1	1/1	2
尾張連合チーム (春日井)	×	△		△ 0-0	2	-3	0/1	3
黒部YEG FC	×	×	△		1	-4	0/2	4

group G	安	K	富	イ	勝点	得/失	勝敗	順位
安城・岡崎YEG連合		○ 2-0	○ 4-0	○ 5-0	9	+11	3/0	1
チーム KUDOU	×		△ 0-0	○ 3-0	4	+1	1/1	2
富山県連チーム	×	△		○ 4-0	4	0	1/1	3
09 インチョーズ	×	×	×		0	-12	0/3	4

group H	仙	村	長	T	勝点	得/失	勝敗	順位
仙台YEG		△ 0-0	○ 3-0	○ 4-0	7	+7	2/0	1
村上商工会議所 青年部会	△		△ 0-0	○ 3-0	5	+3	1/0	2
長井商工会議所 青年部会	×	△		○ 4-2	4	-1	1/1	3
TOYAMA YEG F.C(B)	×	×	×		0	-9	0/3	4

懇親会ギャラリー





福島三単会Bチーム



新潟県連



千葉県青連



TOYAMA YEG FC(A)



FC KIRARA(刈谷)



新宮YEG



FCカイマラーヤ(浜松)



石川県商工会議所青年部連合会



古河カルチョクラブ



AZZURRI(豊橋)



神奈川県青連Aチーム



岐阜県商工会議所青年部連合会



藤枝YEG



日立エルニーニョ



新発田商工会議所青年部



上尾YEG



藤岡・太田・桐生・富岡連合



福島三単会Aチーム



大町YEG & Friends



さいたまYEG



尾張連合チーム(春日井)



黒部YEG FC



安城・岡崎YEG連合



チームKUDOU



富山県連チーム



09インチョーズ



長井商工会議所青年部会



村上商工会議所青年部



仙台YEG



TOYAMA YEG F.C(B)



ブロック会長会議を終えて――。



■北海道ブロック

日本商工会議所青年部
北海道ブロック代表理事
新川 勝久
(岩見沢 Y E G)

○それがどつしたと言われても……。

1999年12月31日をもって9年間の J C 活動を終え、やつと青年という名の付く団体から足を洗うことができました。他にも地元の街づくり会社、法人会や関税会の税務関係、ライオンズクラブ、政党の役員や商工会議所等には所属こそしていましたが、平凡な日々を送っていました。

いよいよ社業に専念しながらも、それまでなおざりにしてきた家庭サービス、趣味の園芸や菜園で心の安らぎを得ていた頃、先輩から「俺が会長になるので会費要員でいいから入れや」と誘われ、2004年4月岩見沢 Y E G に入会することになりました。J C と比べ会議や例会の時間も短く、メンバー間の懇親を深めるために集まっているような感じで、私にとっては非常に楽(笑)な会でした。

3年目を迎えた06年10月初旬のとある

日、突然親交の深い後輩から、「会長と自分とで新川さんに会って話をしたいので時間を作ってください」と電話があり、その日の夕方会って話を聞くと、なんとなんと次年度の会長になってくれという話でした。しかも、岩見沢の次年度会長にとどまらず、その翌々年の北海道 Y E G 会長とブロック会長付きでという……私にとっては北海道 Y E G と北海道ブロックの違いさえ、さっぱり解らない状態だった為、さすがに即答できず、「少し時間をください」と伝えるのが精一杯でした。

その後、先輩達やメンバーに相談し、全道の仲間からも情報をもらいながら、地元岩見沢のこと、日本及び道内の組織や運営状況を聞き、少しずつ Y E G の事を理解することができました。

そして、次年度会長立候補届け締切日に書類を提出し、12月の総会にて07年度会長予定者となった次第です。

そんな訳で、急に慌ただしい日々を送ることになりましたが、今年度の北海道ブロック代表理事として、「皆さんと共に



■東北ブロック

日本商工会議所青年部
東北ブロック代表理事
安田 善好
(須賀川 Y E G)

平成21年度、日本 Y E G 東北ブロック代表理事を務めさせていただいております安田喜好です。

去る6月13日に開催しました東北ブロック Y E G 通常総会並びに春の会長会議に東北はもとより全国各地から福島県須賀川市にご参集頂きまして、誠に有難うございました。

須賀川は人口7万9千の小さな町ですが、当日は Y E G メンバーの活発な交流活動により地域経済の活性化に多大なご協力をいただき重ねて感謝申し上げます。

東北ブロックでは、平成22年度全国大会「宮城仙台大会」、平成23年度全国会長研修会、平成22年度全国サッカー大会「福島大会」を開催することになっております。万全の準備を整え全国の皆様をお迎えしたいと思いますので、今後とも東北ブロックにご支援、ご協力賜れますよう宜しくお願い申し上げます。





■北陸信越ブロック

日本商工会議所青年部
北陸信越ブロック代表理事
坂井 一欽
(新津 YEG)

新潟県新潟市に於いて6月6日に開催されました、北陸信越ブロック「春の会長会議」には、北陸信越ブロック内をはじめ、全国各地より多くの皆様から新潟にお越し頂き、誠にありがとうございました。平成21年度北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会のスローガンに『誠 實』と掲げさせて頂きました。

私たちは、毎日の生活の中で、家族や会社、取引先、地域と多くの人々と触れ合い支えられ生活を送らせて頂いております。真心で真摯に取り組むことにより信用、信頼が生まれ、また敬愛されるものだと感じております。『誠 實』を中心に据え、元気に明るく『實(みのり)』ある一年にしたいと考えております。

先日、単会の講演会にお越し頂いた講師の先生から教えて頂いた事を少し紹介させて頂きます。講師にお越し頂いた先生は、生徒数が年々減少している高校の生徒数を増やす為に校長先生に成られたそうです。赴任した高校の生徒たちは、挨拶もまともに出来ない生徒たちがほとんどだったそうです。

どう生徒数を増やされたのでしょうか？
「凡事徹底」当たり前のことを徹底して

行ったそうです。大きな声で「おはよう」「こんにちは」と挨拶をする。から始まり、大きな声で「ハイ」と返事をする。大きな声で校歌を歌う。図書館へ一日一回通う。この4つを徹底して行くと同時に、そのことが出来るようになった生徒たちを誉めてあげること、そして感謝の「ありがとう」を言葉に出して伝えることを徹底して行い、2年後には、見事、減少前の生徒数まで増やされたとのことでした。その後も幾つもの高校の建て直しをされたと言ってお話です。

先生から当たり前のことをしっかりと行うことの大切さを改めて教えて頂きました。

「凡事徹底」を心がけ、日々邁進して参りたいと思います。



■関東ブロック

日本商工会議所青年部
関東ブロック代表理事
河村 卓利
(静岡 YEG)

9ブロックの先陣をきって4月18日、日本平ホテル(静岡市)にて、春の諸会議(役員会・総会・会長会議)を開催させて頂きました。ブロック内のメンバーをはじめ日本全国より270余名ののぼる多くのメンバーにご参加頂き、厚く御礼を申し上げます。

静岡は山あり、海あり。自然が豊富な温暖な土地です。従って人柄も穏やかです。(笑)

会長会議では、今年度委員会の活動内容をブロック内のメンバーにご確認



いただき、関東ブロック一丸となつて山内会長を全力でサポートいたします。

秋には、第29回関東ブロック大会静岡大会を開催させて頂きたいと思います。「感動ブロック静岡大会くいざ」とくある未来へ」を開催地テーマに掲げ、山あり、海あり、笑いあり。ついでにちよつぱり涙ありの企画中です。

ご登録いただく全ての皆様に「感動」と「とく」をお持ち帰りいただけるよう、静岡 YEG 並びに静岡県連が一丸となつて開催準備に邁進しております。皆様のご来静を心よりお待ちしております。

春の諸会議を無事に開催することができました。改めて全ての YEG の仲間へ厚く感謝を申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

■東海ブロック

日本商工会議所青年部
東海ブロック代表理事

鈴木 成宗
(伊勢 Y E G)

本年度、東海ブロック Y E G 会長を拝命いたしております三重県連伊勢 Y E G の鈴木成宗です。よろしくお願いたします。

先般、行われました春のブロック会長研修会には、ブロック内のメンバーのみならず、日本 Y E G から多くのみなさんにお越しいただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、昨年を上回る多くの参加者のもと、総会では多くの議案をご承認いただき、また、懇親会では、立錫の余地もないほどの会場で、非常に盛り上がった楽しい時間を過ごさせていただきました。あらためて関係各位に深く御礼申し上げます。

また、7月28日には、三重県四日市市に Y E G が誕生します。三重県で最も経済活動の活発なこの市に、このたび四日市商工会議所会頭の肝いりで Y E G が出来ることは、地域経済人の方々の私たち Y E G への期待の大きさを感じ、身が引き締まります。

さて、本年度の東海ブロック Y E G は、「集い戦え若き事業家次代の日本は我ら東海から築く」のスローガンのもと、Y E G すなわち若き事業化集団としての原点に

立ち返り、一人ひとりの事業家としての活動を応援し、それぞれが自らの事業活動を誇りに思えることを願い活動を行っています。

昨年来のサブプライムローン問題に端を発したアメリカ発の金融不安が、経済の急速なグローバル化の中で、私たち日本企業の事業活動にも多大な影響を与えている現状一つを見ても、私たちを取り巻く経済環境が、あらゆる側面においてこの10年で大きく変貌を遂げ、私たち自身も今や待ったなしで変化を求められていることは論を待ちません。

また、混迷を極める政局の中においても、政府首脳の発言の中にも国民の「不安」や「不満」といった言葉が散見されるようになっていっています。このような激しい経済環境の中、私たちは将来を見据えて、今、本当に為すべきことに力を集中してまいりたいと考えています。

元より、Y E G という組織は、Young Entrepreneurs Group というその名が示すとおり、メンバー一人ひとりが事業家であることを求めています。そして、まさに乱世を迎えた事業環境の中で、私たちは、今や望むと望まざるとに関わらず、事業家としてそれぞれの戦場で日々戦い抜いていくことを求められています。ならば、私たちは「不安」や「不満」を口にするよりも、戦いを大局的にとらえ、力を貯え、自らの力で積極果敢に新しいビジネスフィールドを開拓することで、自らの事業を充実させ、社員や家族に「安心」を与え、お客様や取引先に「満足」を感じていただけの誇り高き事業家を目指したいもの

です。

東海地方は、伝統的な物作りの伝統や思想と、最先端の技術が融合し、日本のみならず世界からも注目を集める工業集積地帯です。この地で活動することを誇りに思い、戦い抜く若き事業家集団のために、この一年間、東海ブロック Y E G は活動を行ってまいりたいと考えます。

そして、それぞれが、日々、積極果敢に事業に励まれることで醸成された気魄が、選ばれ集まったこのブロック活動において、如何なく煥発されることを希求しています。

こういった活動目標のもと、今年度は既にいくつかの改革を行ってまいりました。一つは、規約を大幅に改正し、ブロック内に二つの委員会を立ち上げて活動を行っています。広報委員会では、秋のブロック大会桑名大会で風会議を主宰していただき、若手官僚の方々との財政、教育、外交など様々な問題について、踏み込んだ意見の交換を行っていただきます。また、ビジネス交流委員会では、同じく秋のブロック大会で昨年も好評をいただいたビジネス交流会を主催いただく一方で、名古屋商工会議所の青年部組織であります若鯨会との交流を図っていただいています。いずれも単会では行にくい課題、あるいはブロック規模で行うことでより効果が期待できるであろう活動に焦点を当てています。

また、私が会長をお引き受けするに当たり、少しでもブロックの皆様のお役に立つために私ならではあることが出来ないものかと考え、私自身が主催する会長主催研修会を行うことにしました。一回

は既に伊勢にある日本最古の厄除観音「松雄観音寺」での座禅会として終了いたしております。今年度初めての役員会を開催するに当たり、役員の方々を中心に、伊勢の奥座敷で静かに座し、心を洗っていただきました。一緒に参加した私自身も実に清々しい気持ちになり、ご住職からも、しわぶき一つないこれほど見事な座禅は珍しいという言葉をいただき、誇らしく感じました。また、暮れには、ソニーで開発された経営学習法の M G を私自身がインストラクターを務めていただきたき、伊勢で行う予定でいます。伊勢の地で育んでいただいた私自身が東海ブロック Y E G にお役にたてることになれば、この一年の間に少しでも、伝えていきたいと思っています。

今、こうして東海ブロック Y E G は先人の方々のご尽力のおかげで元気に活動をいたしております。これからも、ブロック内外の皆様方のご協力のもと、元気に明るく骨太な活動を行っていきたくと考えています。関係各位のご理解とご協力、そして積極的なご参加をお願いいたします。





■近畿ブロック

日本商工会議所青年部
近畿ブロック代表理事
飯田 寛光
(八尾Y.E.G.)

平成21年度近畿ブロック商工会議所青年部連合会会長を務めております。大阪府青連八尾Y.E.G.の飯田寛光です。よろしく申し上げます。

7月5日に、新型インフルエンザの影響で5月23日から延期となりました近畿ブロックの春の会長会議を開催しましたところ、日曜日にもかかわらず近畿

ブロック51単会中36単会の会長はじめメンバーの方々、そして多数の日本Y.E.G.役員及び出向者など、154名の登録をいただき盛会に開催することができありがとうございました。予定通り5月



23日なら全単会会長の出席を頂いていたのが、延期となり実現できなかったのは非常に残念ですが、この流れを秋のブロック大会、奈良まほろば会議、また来年に続けていけるよう努力していこうと思っております。

さて、本年度「Yes We Can! 夢をかたちに!」をスローガンの掲げ、近畿が元気になること、豊かになることを夢に、地に足をつけた活動でその夢を一つづつかたちにして行くことを目指して行きます。

まずは近畿ブロック内府県連や単会で行われる数多くのすばらしい事業を近畿ブロック役員会が介して紹介し、府県連を超えて交流や連携ができるよう広報していきます。

つぎに日本Y.E.G.事業に積極的に参加することです。「Y.E.G.大賞」「Y.E.G.事業ナビ」「ビジネスブランコンテスト」「ご縁満開Y.E.G.ビジネスサイト」「翔生塾」「ビジネス交流会」「風会議」など、再度学んで参画することで日本Y.E.G.の活動を理解し、地域に落とし込むことでY.E.G.が元気で豊かになると思っています。

今年度のブロック内事業として「故郷の風会議」を近畿ブロック大会八尾大会で企画しています。政治経済・地方分権・道州制などについて、中央省庁の若手公務員と踏み込んだ意見交換をすることで地域活性化に役立ててほしいと思います。最終年度にブロック会長を務めることになり、一生の思い出になるでしょう。

任期終了まで、近畿地方のための近畿ブロックであるよう微力ですが頑張りますのでよろしく申し上げます。



■中国ブロック

日本商工会議所青年部
中国ブロック代表理事
山崎 孝一
(大田Y.E.G.)

5月30日に開催されました島根県大田市に於いて中国ブロック商工会議所青年部連合会「春の会長会議」には、全国各地より多くの方にご参加を頂き誠にありがとうございました。

大田Y.E.G.メンバー一同準備をして参りましたが、行き届かない点多かったことは思います。私をはじめメンバーには始めての事で、分からないことばかりでしたが一生懸命がんばった結果ですので、なにとぞ重ねてご容赦頂けたらと思います。そして、この経験を秋のブロック大会へ向けて生かして行こうと大田のメンバーが一つになってくれる事と思えます。

全国各地よりお越し頂きました日本Y.E.G.皆様のお顔を地元でお逢い出来ることの喜びを感じることができました。前年度副会長の坪井さんも駆けつけて頂いたのも嬉しい限りです。

なんとか無事に終了することができましたのも、皆様方のご協力の下と感謝致しております。心より厚く御礼を申し上げます。





■四国ブロック

日本商工会議所青年部
四国ブロック代表理事

川田 昌義
(高知 YEG)

5月16日に開催されました四国ブロック
商工会議所青年部連合会、定時総会、会長
会議並びに懇親会に交通の便も大変な中、
全国より多くの方のご参加をいただき
ありがとうございました。

ひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、
深く感謝しております。

私をはじめ高知県、宿毛のメンバーで
来ていただいた方に喜んでいただくようと
一心に一生懸命取り組みさせていただきました。

行き届かず、皆々様に御不便迷惑を
おかけ致しました点があったこととは
思いますが今回の経験を糧に、本大会に
向けて、心を一つに頑張つて成功に導いて
いきますので、ご支援のほどよろしく
お願い申し上げます。



■九州ブロック

日本商工会議所青年部
九州ブロック代表理事

有島 範明
(奄美 YEG)

4月25日に奄美大島にて九州の春の
会長会議を終える事が出来ました。

九州をはじめ全国から多くの仲間
起こしていただきまして心から感謝申し
上げます。

奄美大島 YEG にとっては経験のない
大きな行事でしたので、至らないところ
も多かった事と思いますが、何卒ご容赦
いただきたいと思えます。しかし、ひとつ
ひとつブロック大会にむけての、この
経験を積み重ねることで奄美のメンバー
が少しずつ成長を重ねていき、大きな人間
の集まる素晴らしい YEG 単会の一つに
なってくれる事と思えます。

昨年からの世界的大不況で YEG の
仲間もそれぞれが苦しい中がんばって
います。そんな時代にあっても、幸いな
も九州ブロックは先輩方の努力もあり、
まともな強いブロックと感じており



ます。きつい時こそ必要と思えるような
YEG とされるようにいつそうの努力
を重ねて行きたいと思っております。

YEG に入ってから全国にたくさん
の仲間を創る事が出来ました。お金では
買えない限りない宝です。その仲間をまた、
より多く秋には向かえてブロック大会
を向かえる事になります。来てくれた
YEG の仲間が新しく何かを感じ、新しい
出会いでこの奄美が思い出の土地に
なれますように精一杯メンバー一同で
がんばつて大会を成功に導きたいと思
います。今後とも変わらぬご支援のほど
よろしくお願い致します。

YEG の出会いに感謝し、10月には
島民あげて奄美で皆さんとお会いでき
ますことを心から楽しみにしております。
本当にありがとうございました。